

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	産業経済部会
開催日時	平成28年1月28日 19時00分～20時15分
開催会場	市立大学恵陵館3階 237教室
出席委員	扇谷部会長 田中副部会長 上口、清水、大沼、清水池、今井 各委員
事務局出席者	川田経済部長 水間営業戦略室長 今農業委員会事務局長 山田農務課長 青野農務課主幹 新田耕地林務課主幹 西村耕地林務課係長
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後のスケジュール 事務局よりレジュメにて説明 1～2月で2回の部会を開き第1次計画の課題を確認。 3～4月も2回の部会を予定しており、第1次計画の課題を踏まえて、第2次の検証に入る予定。</li> <li>●1次計画の検証 事務局より、「農業・農村の振興」「食育」「林業の振興」について各担当より個別事業について「推進状況」を用い説明。それぞれの施策ごとに、意見を伺った。</li> <li>●次回、第3回の開催日程について。</li> </ul>
発言内容	<p>&lt;農業&gt; 委員 グリーンツーリズムについて、大学生を受け入れているが、地元の高校生等にも参加してもらい、魅力を知ってもらってはどうか。</p> <p>事務局 産業高校については、農家研修という形で農業に関わってもらっているらしい。</p> <p>委員 将来の農業の担い手を増やすため、小学、中学、高校とやってもらってもいいのではないか。</p> <p>委員 生産者と実際にふれあう機会は大切だと考える。 委員の皆様からあったように、小さいころから農業に触れ合うことで、農業に対する理解をえることが必要と考える。</p> <p>農業の関する課題は、今と10年前とであまり変わりはないのか。</p>

<p>発言内容</p>	<p>事務局 潜在的に抱えている課題はあまり変わらない。人口減少に伴い、日本での消費が落ち込むのであれば、東アジアへの輸出も考えていかななくてはならない。</p>
	<p>委員 農家戸数が減少していくと、1戸あたりの農地は広がり、アスパラやスイートコーンなどに手が回らなくなる。人口減少が進めば、雇用確保も難しくなり、耕作放棄地が増えると考えられるので、整備が必要。 農地を拡大するにも莫大な費用がかかるため、段階をふまなければならない。</p>
	<p>委員 潜在的な地域の農業の課題は多くあり、農業を守ることは地域経済を守ることに繋がる。今後の農業に対する支援策などの見通しは？</p>
	<p>事務局 国の施策については、ここ10年間で5回ほど変更がある。国の支援も安定的なものになることが望まれる。</p>
	<p>委員 アスパラやスイートコーンなどの販路はJAを通して行うのが主なのか？ 農商工連携と言っているが、あまりうまく回っていないように感じる。</p>
	<p>委員 東京中野で近隣市町村と物産展をやっているが、野菜が一番売れており、北海道の野菜は高く評価されている。冬にも提供できるような工夫ができれば、（6次産業など）もっと勝負できるものになる。今後、今まで以上に農商工連携が重要になってくる。</p>
	<p>委員 総合戦略の部分と次期総計はリンクするのか？</p>
	<p>事務局 今後、対応したものにしていく。</p>
	<p>&lt;食育&gt;</p>
	<p>委員 データ検証とはどういうことを実施するのか？</p>
	<p>事務局 様々な分野（教育、福祉等）で行われているものなので、それぞれの分野での情報を集め検証を行うものです。</p>
	<p>委員 大学としては、農業体験をさせていただいているが、行っているだけになっているので、今後、もう少し連携できるようにしていきたい。地産地消フェアでオリジナルメニューを作ったように、一歩踏み込んだ形にしていければと考える。</p>

<林業>

委員

現在は市民対象の植林活動はしていないのか？

事務局

平成27年度は小学校を対象に2校で行った。また、石油組合の関係で、智恵文で1度行っている。

委員

国有林、道有林については、市が関与できないものなのか？

今後の森林の利用についてはどのような方向性か？森林の利用でいくと下川町が思い浮かぶが、名寄市も同じような取り組みをしていく考えなのか。

事務局

市有林以外は間伐等行えない。

平成25年度に、市場に出回らない根や細い枝などを有効活用し、大学等の施設で熱源として利用できるかを調査した。コストに見合う施設として、市内ではサンピラー温泉のボイラー設備。それ以外となると市内の木材（根や枝など）ではまかないきれない。

委員

名寄市は木質バイオマスで発電を行うことはきびしいが、ボイラーなどへの導入はできないことはない。

しかしながら、木材は燃やしてしまうと1回でなくなってしまいが、紙にすれば何度か使用が出来る。目先の利益を追うのではなく、資源が無くならないように進めていかなくてはいけない。

最後に、名寄市は、木材を活かした公共施設があまりないと感じるが。

事務局

今後建設予定の、風連小・中学校で木材を活かした建物にするか検討中です。

決定事項等

次回は、商工、労働、観光の分野について。

2月9日（火）13：30～